



# 進路だより



平成26年10月発行 第3号  
栃木県立足利中央特別支援学校 進路指導部

## 移行支援連携協議会

夏季休業中(8月7日)に全職員参加のもと、移行支援連携協議会が開かれました。進路先の事業所や居住地域の関係機関の方々に来校していただき、連携を図るという目的で情報交換をしました。各事業所の方からは卒業生の様子や課題を話していただき、関係機関の方からは、就労に向けて様々な関係機関がサポートしてくれていることや卒業後の就労支援のあり方について話をさせていただきました。また、就労移行支援を行っている福祉施設の方からは、学習指導、一般常識、対人関係を習得し、一人一人に合った支援を行っていたり、生産活動を行いながら基礎体力・理解力・作業能力・協調性そして社会規律など、様々な能力向上を図ったりして、一般就労に向けた取り組みを行っている様子を話していただきました。

教員からの「卒業時に何を身につけておくべきか。」という質問に対しては、遅刻や無断欠席をしないなどの生活態度や働く意欲、どこでも強い気持ちでいられること、自分の弱さも認められて頼りながらも頑張ること、社会のルールを学んでいくこと、年齢差のある誰とでもコミュニケーションをとれるようにしておくこと、心も体も体力をつけておくこと、アピールするための資格などを取得して自信につながるものを持っておくことよいなどと答えていただきました。

学校としては高等部卒業後を見据えて、これからも児童生徒が自己実現できるようにしっかりと指導を行っていきたいと思いました。

### 参加していただいた事業所や福祉・労働行政関係機関

株式会社 ロピア	足利公共職業安定所	栃木県立県南産業技術専門校
日商リネンサプライ株式会社	佐野公共職業安定所	足利市相談支援センター
両毛圏域障害者就業生活支援センター	社会福祉法人足利むつみ会 セルブ絆	佐野障がい者相談支援センター みどり
		社会福祉法人とちのみ会和泉

## 職員の職場体験・施設体験



在校生が現場実習でお世話になったり、卒業生が働いていたりしている作業所や一般企業等で、夏季休業中に教員が職場研修を行いました。その中で感じたこと、事業所や施設の方に教えていただいたことをお伝えしたいと思います。

#### ●施設での体験を通して●

- ・意欲的に、黙々と仕事に取り組めること、報告ができること、素直さが大事だと感じた。
- ・作業ははじめにラジオ体操があることから、学生時代にできるだけ正しく体を動かす指導が必要だと感じた。
- ・(担当の職員さんより)イベントや手伝いなどで自己有用感を高めていくことや、余暇に落ち着いて過ごす方法を見つけておく必要がある。
- ・絵カードでも手を引っ張るなどでもいいので、自分の気持ちを表出し、こちらからの話を素直に受け入れる力が卒業後に人と関わる際に必要であるとのことだった。

#### ●企業での体験を通して●

- ・手先の器用さや手早さなどは慣れの部分でカバーできるが、大人数での職場だとコミュニケーション力はとても大切とのこと。普段から心がけている挨拶やら、報・連・相の声かけができないと、企業に出て行くのは大変なのかなと感じた。
- ・夏は作業場所が機械の熱などで室温が40度以上に達するため、暑さに負けない体力が必要だと思った。
- ・作業場に5分前には自分の力でそれぞれが移動するので、時間を気にしながら行動できることも必要だと思った。

# 2学期 進路に関する行事



## ◆中学部

期 日	行事名	対象等
10/7(火)	職場見学	2年生
10/26(月)~31(金)	校内実習	全学年
10/20(月)~31(金) うち1日	就業体験	2年生の一部
12/9(火)~11(木)	就業体験学習	3年生

## ◆高等部1年生

期 日	行事名	対象等
9・10・11・12月	福祉体験学習	流通コース
9/11(木)	職場見学(こなかの森)	産業・総合コース
9/22(月)~10/9(木)	校内実習	全コース
11月・12月	就業体験学習	流通コース
12/9(火)	産業現場等における実習報告会	全コース

## ◆高等部2年

期 日	行事名	対象等
9/10(水)	職場見学(和泉)	全コース
9月8日(月)	職業ガイダンス	産業・総合コース
9月~12月	就業体験学習	産業・総合コース
9月中	福祉施設体験	産業コース・総合コース
9/22(月)~10/9(木)	産業現場等における実習	全コース
12/9(火)	産業現場等における実習報告会	全コース

## ◆高等部3年

期 日	行事名	対象等
9・10・11・12月	校外作業学習	流通コース
9/20(月)~10/10(金)	産業現場等における実習	全コース
11/27(木)「足利」 21(金)「佐野」	後期福祉支援相談会	福祉サービス利用希望者
12/9(火)	産業現場等における実習報告会	全コース

## ◆保護者

期 日	行事名	対象等
10/21(火)・27(月)「足利」 10/20(月)・29(水)「佐野」	保護者施設見学会	保護者
11/27(木)「足利」 21(金)「佐野」	後期福祉支援相談会	高3 福祉サービス利用希望者
12/9(火)	産業現場等における現場実習報告会	
12/24(水)	進路講演会	卒業生の保護者による講演



## 先進企業視察研修について

※関係機関の都合で期日の変更の場合もあります。

8月21日：(株)あけぼの123(曙プレーキ特例子会社)

朝礼から見学させてもらいました。社訓の唱和やラジオ体操の後、部署ごとの打ち合わせを行い、仕事に入った。就寝時刻や起床時刻などもチェックされていて、生活の基本を大切にすることがわかった。部品の袋詰めもジグを使って一人できる工夫がされていた。清掃は方法が図示されていて、数を数えながらこするなどの方法で行っていた。障害の程度は中度や重度な人が作業を行うための工夫が、随所に考えられていることに感心した。離職者が2人しかいないというのも納得できる感じだった。

8月22日：(株)東京グリーンシステムズ(東京都・多摩市・企業の第3セクター)

多摩の山奥で、IT企業が運営しているので、建物はモダンな感じで、そこで清掃を行ったり、敷地内で野菜を育てて販売したり、レストランや売店を運営したりしている会社。野菜を販売するための商品化や畑、清掃などを見学したが、一人一人が自分の役割を理解して仕事に取り組んでいた。農業で利益を出すのは難しいが、社会貢献もかねて取り組んでいるという言葉が印象的だった。

8月25日：バンダイナムコウィル栃木事業所(バンダイナムコの特例子会社)

おもちゃのまちにある会社。食玩の再生作業やパンの製造、DVDの台詞おこしを行っていた。食玩は期限切れの食玩を解体し、おもちゃとお菓子里に分けたり、おもちゃを解体したりする作業を行っていた。電動工具などを使い、黙々と作業に取り組んでいる様子が印象的だった。

以上3つの企業に共通していることは、基本的な生活習慣の確立、挨拶・返事・質問などのコミュニケーション能力、まじめに取り組む姿勢、継続できる力などが求められていることだった。仕事自体は企業で働きながら覚えられるが、上記のことは学生の時に学んでほしいと言われた。家庭の支援も大切だということも言われてきた。自立に向けて家庭と学校で協力していくことの大切さを再確認した。

